



人間ロータリークラブ Weekly Report



2012-2013 RI 会長：田中 作次
RI 第 2570 地区ガバナー：鈴木 秀憲
会長：吉永 章子 幹事：齋藤 栄作
例会日：木曜日 12:30~13:30
例会場：丸広百貨店入間店 6F パンケット・ホール
Tel.04-2963-1111

会報委員長：宅見 允
当番：大塚 拓
事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号
Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788
Email: iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 8 号 2724 回例会 2012 年 8 月 30 日(木)

9 月新世代月間テーマ・各ロータリアンは青少年の模範

東日本大震災コーナー

絆ボックスは本日を持って終了し、引き続きましてスマイルボックスを今後活用致しますのでご協力お願いします。尚現在まで溜まっている絆ボックスの全額をスマイルボックスへ入れさせていただきます。

ビジター・ゲスト

第 2570 地区第 3 グループ ガバナー補佐

平岡 達也 様

会長の時間

吉永章子会長

9月6日のガバナー公式訪問に向けて、本日は平岡ガバナー補佐にお越し頂いております。先程別室でガバナー補佐点検書類をご覧頂きました。皆様ご存知のとおり、補佐はRI理事会の方針に従い地区ガバナーより任命され、担当する地区内で指定されたクラブの運営に関する管理業務に関してガバナーを補佐するお役目です。以前の分区代理に替わるものですが公式訪問における権限と責任が拡大されて大事な位置付けに居られます。後程卓話をお願い致します。

8/29に地区としては初めての「ロータリーの友」セミナーが開催されました。講師は一般社団法人ロータリーの友編集長の二神典子女史です。1952年(昭和27年)4月、第60区の大会が開催され、新年度から日本の地区は東日本と西日本の分割が決定し、この二地区で共通の雑誌を発行する事になりました。「ロータリーの友」はこれまで行動を共にしてきた日本のロータリアンが分割されてからも緊密に連絡を取り合い情報を共有する為の機関紙として企画されたものだそうです。

現在RIよりロータリー地域雑誌に指定されロータリー会員は購読の義務があります。この様に歴史から始まり基調講演は「ロータリーの最大情報紙の活用について」がテーマでした。基本的な説明で、左側から読むと通常横組はRIの指定記事、特別月間の特集等。又、

右側からの縦組はコミュニケーションの懸け橋となる記事等で、ロータリー地域雑誌は年6回以上発行しロータリーに関する記事を50%以上掲載する事と決まっているそうです。何故「友」誌を読まなければならないのでしょうか？読むことにより色々なロータリー情報を得て、それをクラブの活動に活かし、牽いてロータリーの目的を推し進めることが出来るからです。最近導入された企画は沢山ありますがその内の一つ、新会員向けの解り易い解説コーナーは雑誌の真ん中に納められています。二箇所を押さえる部分を外すとページを取る事が出来保存版としてファイルすることが出来ますのでお試下さい。又、ロータリー活動で得た感動体験、写真、個人の仕事をとおしてのロータリアンとしての生き方、職業観等がありましたら「友」誌への投稿を是非お願い致します。

幹事報告

齋藤栄作幹事

- ① 9月6日はガバナー公式訪問です。全員出席を目指しておりますので宜しくお願いします。
 - ・集合時間：10時30分
 - ・記念撮影ありますのでクラブブレザー・タイ着用
 - ・駐車場は昨年と同じ所を用意してます。正面玄関前はガバナーが使用されますのでご協力願います。
 - ・第3回クラブ協議会終了後ガバナーとの懇親会を用意しています。皆さん質問を考えてきて下さい。
- ② 前期会費未納の方は早急に入金お願いします。
- ③ 新入会員木下さんまで掲載された名簿ご活用下さい。

委員長報告

会報委員会

宅見允委員長

齋藤金作会員より今日お配りした週報7号のコラム「鶴は九阜に鳴いて声天に聞こゆ」について解説を頂きます。

親睦活動委員会

書問和弘委員長

本日例会終了後、家庭集会を開催いたしますので親睦委員の方々には参加、宜しくお願い致します。

岩崎茂会員

先般、皆様に我が社の創業 80 周年記念祝宴のお知らせをお出しさせて頂きました。よろしくお願ひ致します。又、オリンピック開催の最中にロンドンのロータリークラブに行きまして、お土産をどうぞ。

<ニコニコBOX>

細淵克則 S A A

吉永章子君、加藤国夫君～平岡ガバナー補佐、今日は宜しくお願い致します。細淵克則君～平岡ガバナー補佐、書類監査お疲れさま。大野賢次君～妻の写真が二科展に入選しました。滝沢文夫君～大野さん奥様の二科展入選おめでとうございます。齋藤栄作君～石巻へ。大塚拓君～長男に明るくまっすぐに育ってほしいと願ひを込め「晴正」と名づけました。岩崎茂君～皆様に創業 80 周年式典のご案内いたしました。関根靖郎君～加藤さん写真ありがとう。宅見允君～岩崎さん本場のクッキーおいしいです。

本日¥14,500 累計¥140,000

<出席報告>

新井格出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
40名(39名)	31名	79.5%	86.5%

* 事前欠席連絡 3名

回覧、配布物

- ① 9/27 ツタンカーメン展と夕食の宴出席表
- ② 入間ロータリークラブ会員名簿
- ③ 9/6 ガバナー公式訪問欠席確認表
- ④ 他クラブ週報・例会変更のお知らせ
- ⑤ 週報 5, 6 合併号



講師卓話

第 2570 地区第 3 グループ ガバナー補佐

平岡 達也 様



今年の7月1日の埼玉新聞に田中作次 RI 会長の特集が2570地区と2770地区合同で組まれていました。これは埼玉から日本人として3人目のRI会長が誕生したことや、ロータリーが長い間ポリオ撲滅に取り組んでいて、大変なお金

を使い、もう少しで撲滅出来るところまでできましたが、世間の人はこのことをほとんど知らないこと等からこの特集を組んだそうです。

鈴木ガバナーは埼玉には2570地区と2770地区があるが、社会奉仕事業等を手始めに両地区合同で事業を行いたいとの意向があり、この度早速「打ち水大作戦」が行われました。時間の無い中を、幹事はじめ関係者の努力で素晴らしい打ち水となりました。

第 2570 地区は、昨年から RLI という研修方式を取り入れました。ロータリーは横文字 3 文字がよく出てきますが、「ロータリー・リーダーシップ・研究会」といいます。この方式は GETS (ガバナーエレクト研修セミナー) 及びサンディエゴでの国際協議会にも取り入れられているとのこと。RLI は 2008 年に日本に導入されましたが、隣の 2770 地区は早くから取り組んでいて、今はここに日本支部があります。当地区は昨年度から RLI の指導者を育成する研修会が開催され、今年度から RLI 方式の研修が本格的に動き出しています。RLI は一人一人のロータリアンの知識を高め、質の高い研修を通じてロータリーを活性化することを願ったプログラムです。

この研修は一人一人のロータリアンに、ロータリーを理解してもらい、ロータリーの組織や活動を知り、将来ロータリー活動に指導力を発揮できる人を育てるといふものです。

研修の特色は講義形式ではなく、決められたテーマについて皆で意見を自由に出し合って討議する形式です。各参加者は質問に回答すればよいのではなく、質問に対する参加者の発言を聞いて、自分自身の回答や方向性を見出す研修方法です。参加者は少人数に別れ、それぞれの分科会で研修します。

IM については 2010 年の規定審議会において第 5 の奉仕部門として新世代奉仕部門が新設されましたが、新世代奉仕は難しい、取り組み方がよく分からないという声をよく耳にします。そこで、2012 年 3 月 9 日に開催を予定しております IM におきまして、新世代奉仕部門ならびにこれに関連した国際奉仕部門に於ける各クラブの取り組みを発表していただき、今後の各クラブの事業展開の参考にしたいと考えています。但しこのために新しく事業をする必要はありません。これまでの事業について、あるいは今後こんなことをしてみたいということをお聞かせ下さい。

来週はガバナー公式訪問です。折角ガバナーが見えるのですから聞きたいこと等ありましたら遠慮なく発言して下さい。

「ガバナーエレクトについての討議」

表題につきまして地区指名委員石川嘉彦氏から報告がありました。

地区協議会での中井氏の発言、今年度月信 1 号での投稿の内容、さらにガバナーノミニエ就任後の様々な言動により次年度の地区運営に対する不安が地区内に極度に高まっており、指名諮問委員会、歴代地区幹事会、現ガバナー、多くの地区内クラブでも憂慮されている様子が伺えます。これらの状況の中で 2011～12 年度の地区指名委員会は、中井氏のガバナーの指名取り消しを決議し (8 月 20 日) 次年度ガバナーを辞退するように勧告することになりました、と言う石川氏の経過の報告でした。

これをふまえて当クラブでも本案件について討議を重ねた結果、大多数の意見として、中井氏はガバナーとして不適格であると言う結論に達しました。従ってこの意向を地区事務所に文書にて報告することといたしました。